

令和 2 年 7 月 10 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2017～2019

課題番号：17H02314

研究課題名（和文）語り物を題材とした絵巻・絵本の国際的調査研究

研究課題名（英文）International research study of Japanese katarimono themed illustrated books

研究代表者

小林 健二（KOBAYASHI, Kenji）

国文学研究資料館・その他部局等・名誉教授

研究者番号：70141992

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,200,000円

研究成果の概要（和文）：本共同研究では国文学者が中心となり、国内外の美術史学者と協力して、語り物、とくに幸若舞曲の絵入り本を対象とした共同研究を実施した。主たる目的は早くから海外に流出した『舞の本絵巻』の調査研究であったが、現在確認できる在外資料はもちろん、期間中に新しく発見されたフランス国立図書館の資料をも調査することができた。また、幸若舞曲の絵入り本を対象とした特別展示「幸若舞曲と絵画 武将が愛した英雄たち」を海の見える杜美術館で開催し、研究成果を盛り込んだ図録を刊行した。さらに、本共同研究の多様な成果は論文集『絵解く 戦国時代の絵画と芸能 描かれた語り物の世界』にまとめて公刊することが出来た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

室町後期から江戸初期にわたって大量に製作された絵巻・絵本が、今日、国文学だけではなく美術史学や歴史学の方面でも注目されるようになったが、本研究では語り物、とくに幸若舞曲の絵入り本を対象としたことに意義がある。ことに海の見える杜美術館で「幸若舞曲と絵画」の特別展を開催できたのは特筆すべきで、国文学者のみならず美術史の研究者にも反響があった。また、代表者の小林が説話文学会のシンポジウム「判官物研究の展望」を主催し、共同研究としては海の見える杜美術館での公開シンポジウム「『舞の本』と華麗なる江戸絵巻・絵本の世界」を開催するなど学界横断的に問題を提起した。

研究成果の概要（英文）：This collaborative research study group, consisting mainly of Japanese literature scholars with cooperation of international/domestic Japanese art historians, conducted research and study on Japanese katarimono illustrated books. Our interest was especially on kowaka dance themed genre. The main purpose was to conduct researches on Mai-no-hon-emaki pieces, those had been taken to foreign collections in earlier days. We could cover not only the already-known foreign collections but as well as the newly acknowledged scroll at Bibliotheque nationale de France. Other significant outcome was the special exhibition at Umi-Mori Art Museum, "The Paintings of Kowaka Dance: Presenting the Heroes of the Samurai" and its exhibition catalogue which includes our research results. Lastly, a collection of papers of this collaborative research study was published as a book titled "Etoku sengoku no geino to kaiga: egakareta katarimono no sekai".

研究分野：国文学

キーワード：語り物 幸若舞曲 絵巻 絵本 屏風絵 古浄瑠璃 説経 海外調査

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

(1) 海外に所蔵される絵巻・絵本が国文学や美術史の研究資料として注目されるようになったのは、昭和 53 年にロンドン、ダブリン、ニューヨークの海外各地で、また翌昭和 54 年には国内の東京と京都において、奈良絵本国際会議が開催されたことがあげられる。以後、国内外の絵巻・絵本の調査研究が国文学・美術史・歴史学の枠を越えた共同チームで行われるようになった。なお、奈良絵本国際会議は本共同研究の協力者である石川透氏によって現在でも開催されている。

(2) 国内外の絵巻・絵本が研究資料として注目されたことを背景に、国文学研究資料館ではアイルランドのチェスター・ピーティアー・ライブラリィに所蔵される絵入り本の総合調査研究を実施し、その成果として『チェスター・ピーティアー・ライブラリィ絵巻絵本解題目録 図録篇・解題篇』2 冊(平成 14 年、勉誠出版)を刊行した。また、小林が代表となり平成 21 年より 5 年間にわたって科研費基盤研究(A)「スペンサー・コレクションの絵入り本解題目録作成のための総合的調査研究」を学際的な研究体制で実施し、その成果として『海を渡った物語絵』(平成 25 年、ペリかん社)『絵が物語る日本 ニューヨーク スペンサー・コレクションを訪ねて』(平成 26 年、三弥井書店)を刊行した。

上記のような気運の中で調査研究を重ねていくうちに、国内外の物語絵の絵巻・絵本には語り物、とくに幸若舞曲の絵巻・絵本が多くあることが明らかになり、平成 26 年度から 3 年間にわたって小林が単独で科研費基盤研究(C)「『舞の本絵巻』を中心とした幸若舞曲の絵入り本の調査研究」を行ったが、今回はその内容も踏まえて学際的な共同研究の形で語り物の絵入り本を対象を絞って実施した。

### 2. 研究の目的

本研究は幸若舞曲など語り物芸能を題材とする国内外の絵巻・絵本を国文学・美術史学の分野から複眼的に調査研究することにより、語り物芸能が絵画化して流布する様相と文化史的な意義の解明を目的とする。具体的には、以下のようなことを実施した。

(1) 国内外の幸若舞曲を題材とした絵巻・絵本の網羅的調査を行い、幸若舞曲の絵巻・絵本の所在一覧である「幸若舞曲絵入り本一覧」を作成する。これについては、小林が『中世劇文学の研究』(平成 13 年、三弥井書店)で「幸若舞曲の絵入り本一覧(稿)」を公表していたが、共同研究者の協力を得てさらなる充実をはかった。また、それにより新たに知見に入った重要資料の調査と研究を行った。

(2) 『舞の本絵巻』の総合調査と研究を行う。幸若舞曲の絵巻・絵本は江戸初期に出版された絵入り版本「舞の本」三十六番が出版された前後で大きく分かれる。つまり、出版後は「舞の本」を粉本とした絵巻・絵本が作られるようになるのであるが、その粉本として作られる作例の中で最大で最も美しい作例が『舞の本絵巻』である。揃い本が残っていたら二十巻にもなるものだが、残念ながら現在は散逸しており、この機会に国内外に散見される『舞の本絵巻』の悉皆調査を行って、その制作過程についての研究を行った。

(3) 海の見える杜美術館に所蔵される『舞の本絵本』『村松物語絵巻』など絵巻・絵本の調査研究の実施。『舞の本絵本』47 冊は絵入り版本「舞の本」三十六番を絵本に仕立てたもので『舞の本絵巻』と一連の作例で、『舞の本絵巻』制作の上で重要な作例となるもの。『村松物語絵巻』12 巻は岩佐又兵衛の作画がうたがわれる古浄瑠璃の絵巻でチェスター・ピーティアー・ライブラリィに所蔵される『村松物語絵巻』3 巻との関係などの調査と研究を行った。

### 3. 研究の方法

(1) 原本の書誌調査と撮影。所蔵先におもむき、調査対象の詳しい書誌調査を行い、所蔵者の了解を得て簡易撮影を行う。今回、主な対象としたのが海外ではアイルランドのチェスター・ピーティアー・ライブラリィ、ニューヨーク公共図書館のスペンサー・コレクション、ベルリン東アジア美術館、フランス国立図書館であり、国内では広島県廿日市市の海の見える杜美術館、島根県出雲市の手銭記念館、日本大学総合図書館などであった。

(2) 研究会を実施し、調査の報告と研究結果について検討する。国文学研究者だけでなく、気鋭の美術史の研究者も含めて討議を行う。全部で 6 回の研究会を実施し、若手研究者の交流のために名古屋大学大学院人文学研究科/頭脳循環プログラムと合同で行ったこともある。

(3) 研究全体の内容を対象としたシンポジウムを実施する。海の見える杜美術館の展示「幸若舞曲と絵画」に合わせて、期間外となるが令和元年 4 月 13 日に公開シンポジウム「『舞の本』と華麗なる江戸絵巻・絵本の世界」を開催した。小林が基調講演「『舞の本』を粉本とした絵本と絵巻」を行い、講師と演題は石川透「詞書に見る 17 世紀絵巻群」、高岸輝「17 世紀における中世絵巻の再生」であった。

(4) 研究成果を盛り込んだ展示を行い、研究内容の可視化をはかる。令和元年3月2日から5月12日まで開催された海の見える杜美術館の春期特別展「幸若舞曲と絵画 - 武将が愛した英雄たち」の開催に、本共同研究が協力した。

#### 4. 研究成果

(1) 平成31年3月より広島県の海の見える杜美術館で行われた「幸若舞曲と絵画 - 武将が愛した英雄たち」展を、本科研費の成果発信の一つに位置づけ、共同研究の協力者である同美術館学芸員である谷川ゆきが展示を担当し、代表の小林が監修をつとめた。また展示の開催に際して図録『幸若舞曲と絵画 - 武将が愛した英雄たち』を作成して、共同研究の成果を盛り込んだ。その内容は以下のとおり。

小林健二、基調論文「幸若舞曲 - 語り物芸能から絵巻・絵本へ」

恋田知子、論文「大職冠の物語絵」

谷川ゆき、論文「狩野春雪筆《夜討曾我絵巻》九巻について」

コラム1、小林健二「女曲舞や稚児の曲舞」

コラム2、糸汐里「牛若の母、常盤をめぐる語り物」

コラム3、小林健二「源頼朝の治政を言祝ぐ」

コラム4、谷川ゆき「幕紋尽くし - 幸若舞曲ならではの見せ場を描く」

小林の基調論文の内容は、絵入り版本「舞の本」三十六番を粉本とした、チェスター・ビーティー・ライブラリ系の『舞の本絵巻』(現在、11軸15番を確認)と日本大学図書館系の『幸若舞曲集(舞の本絵巻)』(6軸11番を確認)そして海の見える杜美術館蔵の『舞の本絵本』36番47冊を比較検討し、粉本とする絵巻・絵本が本文はほぼ忠実に「舞の本」に拠っているのに関わらず、挿絵に関しては図数や位置は踏襲するものの、図様は独自の物語解釈によって描かれており、絵巻・絵本の構図が共通することから、同じ絵手本に拠っていることが判明すること。さらにチェスター・ビーティー系絵巻と海の見える杜美術館の絵本がより近い関係にあり、これらが同一の絵屋(工房)で製作されていることを推測した。これはこの共同研究で明らかにできた重要な成果である。また、パリのフランス国立図書館が平成元年に日本大学図書館系の『舞の本絵巻』(内ベルリン東アジア美術館蔵は「伊吹」「文覚」「硫黄ガ島」)を購入したとの情報を得たので、ベルリンの東アジア美術館の所蔵する『舞の本絵巻』(「烏帽子折」)とともに調査を行い、フランス国立図書館本は日本大学図書館系の絵巻であり、ベルリン東アジア美術館の「烏帽子折絵巻」はチェスタービーティコレクション系の作例であることが判明したことも大きな収穫であった。

(2) 最終年度には共同研究のまとめとして、代表の小林が説話文学会シンポジウムで発表した『源義経一代記図屏風』が語り物文芸を絵画化したものであることの成果や、海の見える杜美術館の展示「幸若舞曲と絵画」に合わせて行われた研究会での成果、また、共同研究の期間中に行った研究会での発表や報告をまとめて論集『絵解く 戦国の芸能と絵画 描かれた語り物の世界』(令和2年3月、三弥井書店)を刊行した。内容は以下のとおり。

○序論 描かれた語り物の世界

小林健二「『源義経一代記図屏風』を読む」

糸汐里「手銭記念館蔵烏帽子折物語絵巻貼付屏風 解題・翻刻」

○平家物語図扇面画帖を読む

鈴木彰「海の見える杜美術館「平家物語扇面図画帖」について - 場面解釈と本文離れをめぐる検討」

龍澤彩「江戸時代前期の平家物語図扇面について - 海の見える杜美術館所蔵「平家物語扇面画帖」を中心に」

○幸若舞曲・古浄瑠璃を描く

石川透「語り物系絵巻をめぐる - 『堀江物語絵巻』断簡四枚紹介」

酒井公子「ベルリン国立アジア美術館《烏帽子折絵巻》 - 分析と分類」

恋田知子「江戸初期の幸若舞曲絵巻・絵本の制作 - 「大職冠」と「敦盛」を例として」

齋藤真麻理「風俗表現と物語絵 - 『むらまつ』の場合」

○絵師と筆者

谷川ゆき「狩野春雪による幸若舞曲絵巻制作」

下原美保「作品紹介 住吉如慶筆「堀川夜討絵詞絵巻」について」

海野圭介「賀茂別雷神若宮祢宜西池季通の日記に見える狩野永納」

○付篇

幸若舞曲の絵入り本一覧

上記の成果の中でも、手銭記念館の『烏帽子折絵巻貼付屏風』に貼られる「烏帽子折」の絵巻は、共同研究の研究会の輪読研究によって本文や挿絵の内容から、室町末期までに作られたと位置づけられ、「烏帽子折」諸本中でも屈指の古本であることがわかったことは大きな収穫で、本文を翻刻するとともに、挿絵の分析を丁寧に行って学界に提供した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

|   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名<br>小林健二                              | 4. 巻<br>1               |
| 2. 論文標題<br>幸若舞曲－語り物芸能から絵巻・絵本へ               | 5. 発行年<br>2019年         |
| 3. 雑誌名<br>幸若舞曲と絵画－武将が愛した英雄たち                | 6. 最初と最後の頁<br>pp6-16    |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし               | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-               |
| 1. 著者名<br>恋田知子                              | 4. 巻<br>1               |
| 2. 論文標題<br>大織冠の物語絵                          | 5. 発行年<br>2019年         |
| 3. 雑誌名<br>幸若舞曲と絵画－武将が愛した英雄たち                | 6. 最初と最後の頁<br>pp97-102  |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし               | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-               |
| 1. 著者名<br>谷川ゆき                              | 4. 巻<br>1               |
| 2. 論文標題<br>狩野春雪筆《夜討首我絵巻》九巻本について             | 5. 発行年<br>2019年         |
| 3. 雑誌名<br>幸若舞曲と絵画－武将が愛した英雄たち                | 6. 最初と最後の頁<br>pp103-108 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし               | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-               |
| 1. 著者名<br>下原美保                              | 4. 巻<br>224号            |
| 2. 論文標題<br>箱崎における宮廷文化の伝播について - 「箱崎八幡宮縁起」を例に | 5. 発行年<br>2018年         |
| 3. 雑誌名<br>アジア遊学                             | 6. 最初と最後の頁<br>pp112-116 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし               | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-               |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>下原美保                                     | 4. 巻<br>70号           |
| 2. 論文標題<br>『新增書目』翻印 - 住吉派・板谷派の絵画鑑定及び模写に関する記事を中心に - | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>鹿児島大学教育学部研究紀要人文・社会科学編                    | 6. 最初と最後の頁<br>pp13-40 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                     | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難             | 国際共著<br>-             |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>小林健二                                       | 4. 巻<br>43号        |
| 2. 論文標題<br>『舞の本絵巻』の制作をめぐる諸問題 - 付、幸若舞曲の絵入り本一覽稿 (増補改訂) | 5. 発行年<br>2017年    |
| 3. 雑誌名<br>国文学研究資料館紀要 文学研究篇                           | 6. 最初と最後の頁<br>1-55 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                       | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難               | 国際共著<br>-          |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>小林健二                         | 4. 巻<br>1           |
| 2. 論文標題<br>野崎家塩業歴史館蔵『和漢図貼交屏風』の能絵       | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>備前池田家伝来 野崎家能楽コレクション          | 6. 最初と最後の頁<br>20-23 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>小林健二                         | 4. 巻<br>94-7       |
| 2. 論文標題<br>「小敦盛」絵巻の変容 願得寺実悟の関与をめぐる     | 5. 発行年<br>2017年    |
| 3. 雑誌名<br>国語と国文学                       | 6. 最初と最後の頁<br>1-20 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>齋藤真麻理                        | 4. 巻<br>44号        |
| 2. 論文標題<br>渡海の絵巻 - いけのや文庫蔵『御曹司島渡り』 -   | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>国文学研究資料館紀要 文学研究篇             | 6. 最初と最後の頁<br>1-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>糸汐里                           | 4. 巻<br>52号           |
| 2. 論文標題<br>『大橋の中將』成立の一背景 日蓮宗教学との関わりを中心に | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>説話文学研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>162-174 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-             |

〔学会発表〕 計10件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 4件)

|                          |
|--------------------------|
| 1. 発表者名<br>齋藤 真麻理        |
| 2. 発表標題<br>『御曹司島渡り』と室町文芸 |
| 3. 学会等名<br>説話文学学会        |
| 4. 発表年<br>2018年          |

|                     |
|---------------------|
| 1. 発表者名<br>小林健二     |
| 2. 発表標題<br>判官物研究の展望 |
| 3. 学会等名<br>説話文学学会   |
| 4. 発表年<br>2018年     |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>桑汐里                                 |
| 2. 発表標題<br>語り物の風景描写をめぐる 道行文の絵画化                |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム 和漢の故事 人物と自然表象 16, 7世紀の日本を中心に |
| 4. 発表年<br>2018年                                |

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>谷川ゆき                   |
| 2. 発表標題<br>海の見える杜美術館所蔵《十番切絵巻》について |
| 3. 学会等名<br>広島芸術学会第32回大会           |
| 4. 発表年<br>2018年                   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>恋田知子  |
| 2. 発表標題<br>The Aging Body in the Medieval Japanese Tale “Tokiwaka as an Old Woman”                 |
| 3. 学会等名<br>Columbia/Nagoya University Conference “Borders, Performance, and Deities” (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>小林健二   |
| 2. 発表標題<br>二つの『舞の本絵巻』                                   |
| 3. 学会等名<br>国際シンポジウム「日本の絵ものがたりの世界」チェスタービーティライブラリィ (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2017年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>恋田知子                            |
| 2. 発表標題<br>奈良絵本 の定着と近代文化                   |
| 3. 学会等名<br>国際日本文化研究センター共同研究 特別会議「お伽草子の再発見」 |
| 4. 発表年<br>2017年                            |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>桑汐里  |
| 2. 発表標題<br>説経・古浄瑠璃の絵巻・絵入り写本・版本をめぐる 『村松物語』を事例に                                 |
| 3. 学会等名<br>頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラムによる国際会議「文化創造の図像学 絵写本・奈良絵本、絵入り版本とその周辺」 |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>桑汐里                                       |
| 2. 発表標題<br>『江島物語』と相撲                                 |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム「日本の絵ものがたりの世界」チェスタービーティライブラリィ（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2017年                                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>齋藤真麻理                                     |
| 2. 発表標題<br>『大江山絵巻』とその周辺                              |
| 3. 学会等名<br>シンポジウム「日本の絵ものがたりの世界」チェスタービーティライブラリィ（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2017年                                      |



## 〔図書〕 計4件

|                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>小林 健二               | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>吉川弘文館               | 5. 総ページ数<br>360 |
| 3. 書名<br>描かれた能楽－芸能と絵画が織りなす文化史 |                 |

|                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>小林健二・谷川ゆき・恋田知子         | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>海の見える杜美術館              | 5. 総ページ数<br>136 |
| 3. 書名<br>展示図録 幸若舞曲と絵画 武将が愛した英雄たち |                 |

|                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>下原美保 | 4. 発行年<br>2017年 |
| 2. 出版社<br>藝華書院 | 5. 総ページ数<br>325 |
| 3. 書名<br>住吉派研究 |                 |

|                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>恋田 知子   | 4. 発行年<br>2017年 |
| 2. 出版社<br>平凡社     | 5. 総ページ数<br>112 |
| 3. 書名<br>異界へいざなう女 |                 |

## 〔産業財産権〕

## 〔その他〕

-

## 6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                                 | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                      | 備考            |
|-------|---|--|---------------|
| 研究分担者 | 齋藤 真麻理<br><br>(SAITO Maori)<br><br>(50280532)             | 国文学研究資料館・研究部・教授<br><br><br><br>(62608)     |               |
| 研究分担者 | 恋田 知子<br><br>(KOIDA Tomoko)<br><br>(50516995)             | 国文学研究資料館・研究部・准教授<br><br><br><br>(62608)    |               |
| 研究分担者 | 海野 圭介<br><br>(UNNO Keisuke)<br><br>(80346155)             | 国文学研究資料館・研究部・教授<br><br><br><br>(62608)     |               |
| 研究分担者 | リーブズ クリストファー<br><br>(REEVES Kristopher)<br><br>(60776186) | 早稲田大学・文学学術院・講師(任期付)<br><br><br><br>(32689) | 削除：2019年2月26日 |
| 研究協力者 | 石川 透<br><br>(ISHIKAWA Toru)                               |  |               |
| 研究協力者 | 鈴木 彰<br><br>(SUZUKI Akira)                                |  |               |
| 研究協力者 | 下原 美保<br><br>(SHIMOHARA Miho)                             |  |               |
| 研究協力者 | キンブロー ケラー<br><br>(KIMBROUGH Keller)                       |  |               |

## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(研究者番号)                        | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号) | 備考 |
|-------|--------------------------------------|-----------------------|----|
| 研究協力者 | サンダース レイチェル<br><br>(SAUNDERS Rachel) |                       |    |
| 研究協力者 | メラー ベレニス<br><br>(MOLLER Berenice)    |                       |    |
| 研究協力者 | 谷川 ゆき<br><br>(TANIKAWA Yuki)         |                       |    |
| 研究協力者 | 糸 汐里<br><br>(KUME Shiori)            |                       |    |
| 研究協力者 | 酒井 公子<br><br>(SAKAI Kimiko)          |                       |    |